

枕崎

特集

地域

×
に生きる
で活ける

<アジサイと妙見神社前の鳥居>



特集 地域×に生きる生活

学校を取り巻く問題は複雑化・困難化し、今や学校だけでは対応が厳しい現状があり、学校と地域がパートナーとして連携・協働し、組織的・継続的な仕組みを整備していくことが必要不可欠となっています。そのような背景から、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える活動である「地域学校協働活動」に取り組んでいます。その活動の一つが「まくらざき学校応援団」のボランティア活動です。

今回の特集では、まくらざき学校応援団として地域で活躍する皆さんを紹介します。

- ①学習農園で田植機の体験をする児童。
- ②裸足で田んぼに入り昔ながらの手植え体験も。③コンバインでの収穫。鎌の使い方も学ぶ。④収穫したもち米を使っての餅つき。桜山小学校では毎年5年生が①～④の体験を行う。

学校での活動のほか、地域で
は松下公民館の館長、40年以上
続いているMBCふるさと特派
員など、多方面で活躍されています
が、「今年度はJIA南さつま
の事業を活用し、市内4小学校
でジャンボカボチャとハロウイ
ンカボチャの栽培にも取り組み
ます!」と新たなチャレンジにも
精力的です。活動の幅がどんどん
広がっていく山崎さんは「それ
ぞれの校区に一人でも協力して
くれる方がいればありがたいで
す」と話していました。

若い頃から農業一筋で働いてきた山崎巳代治さん。その経験を活かし、学校応援団では農業体験活動の支援を行っています。桜山小学校では、米やもち米、さまざまな野菜の栽培を、枕崎小学校では150周年事業に向け記念焼酎の原料に使用するサツマイモの栽培を行っています。山崎さんは、植え付けや収穫以外にも週に一度は野菜の様子を見に学校を訪れます。山崎さんを見つけると、子どもたちは野菜の発育の状況や、収穫した野菜をどのように食べたかなど話をしかけてくれるそうです。「楽しみにしている様子が身近に感じられるところがやりがいです」と目を細めます。

培ってきた技術を子どもた

館を中心とした校区ごとの活動が行われてきましたが、令和2年度から市全体で総合化・ネットワーク化し、より幅広い地域住民等の参画を推進し、それぞれの経験や知見を尊重し合いながら組織的で安定的に活動を継続できるような仕組みを整えるよう取り組んでいます。

「地域学校協働活動」とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動です。

その活動団体の一つが「まくらざき学校応援団」であり、学校における学習活動、安心・安全確保、環境整備などについてボランティアとして協力・支援を行なう保護者・地域住民による活動組織です。本市では、4月1日現在で個人で24名、企業・団体で1264名の合計1288名が登録しています。

これまで本市では、地区公民



子どもたちの生きる力を 育む学校応援団の活動





仲間と共に楽しむ活動を

本市には、7つの読み聞かせボランティアグループが活動しています。その連絡会で代表を務めるのは、「ブーたんの会」発起人の久木田弘子さんです。

久木田さんは、小さい頃、旧志布志町で童話会の語りべをしていましたといふ父の影響もあり、教員として働く現役の頃から児童たちに民話の語りべをしていました。「子どもたちが目を輝かせながら話を聞いてくれるのがうれしかった」という久木田さんは、定年退職後には、近隣市の学校からの要望に応じ、先生方が朝のミーティングを行う

志布志町で童話会の語りべをしていましたといふ父の影響もあり、教員として働く現役の頃から児童たちに民話の語りべをしていました。「子どもたちが目を輝かせながら話を聞いてくれるのがうれしかった」という久木田さんは、定年退職後には、近隣市の学校からの要望に応じ、先生方が朝のミーティングを行う



▲枕崎小での読み聞かせの様子

先輩たちが繋いできたことを次の世代へ

立神地区老人クラブ連合会は、塩屋・田中・田畠・大堀地区それぞれの老人クラブからの協力により、292人の会員が活動しています。

学校応援団の活動としては、地域の子どもたちに戦争体験談や昔の遊び、昔の道具の使い方などの「経験」を伝えていく活動を行っています。活動のあと、立神老人クラブのもとに子どもたちからの感想や感謝の作文が届きます。会員の中には孫から感想が届く会員もいて、とても

楽しみにしているそうです。しかし、高齢化が進み、戦争の体験を伝えられる人や、昔の遊びを教えることができる人が少なくなっています。また、老人会を解散する公民館が増えていることもあり、活動に協力の方も減りつつあります。会長を務める戸床さんは「組織の在り方も検討しながらも、これまで立神地区の先輩方が語り継いできたことを途切れさせ代を担う子どもたちに自身の体験や枕崎の歴史を語り継いでいきたい」と話しました。

昔の遊び伝承、戦争体験講話等
立神地区老人クラブ連合会 会長
戸床 安孝さん

①戦争体験講話の様子 ②昔の遊び(手作り水鉄砲)を楽しむ児童 ③昔の道具(ちぎり)で鯉節の重さを図る児童

生まれも育ちも別府地区の駒水さんは、父が肺を患い、日赤病院や市立病院で大変お世話になつてないと振り返ります。父が働けない間は生活が苦しく、親戚や地域の方に助けてもらつたそうです。その経験から、できることをできるときに社会に貢献したいという思いが生まれたと話します。



▲ボランティアについて話す駒水さん

できることをできるときに

立神地区老人クラブ連合会としての活動では、塩屋・田中・田畠・大堀地区それぞれの老人クラブからの協力により、292人の会員が活動しています。活動のあと、立神老人クラブのもとに子どもたちからの感想や感謝の作文が届きます。会員の中には孫から感想が届く会員もいて、とても

楽しみにしているそうです。しかし、高齢化が進み、戦争の体験を伝えられる人や、昔の遊びを教えることができる人が少なくなっています。また、老人会を解散する公民館が増えていることもあり、活動に協力の方も減りつつあります。会長を務める戸床さんは「組織の在り方も検討しながらも、これまで立神地区の先輩方が語り継いできたことを途切れさせ代を担う子どもたちに自身の体験や枕崎の歴史を語り継いでいきたい」と話しました。

駒水 政則さん

学校応援団としての活動では、内に献血会場で呼びかけを行う献血応援隊、小・中学生の通学に支障がないように歩道の草払いを行なう県道ボランティアなど活動は多岐にわたります。その他に献血ルーム・天文館や県内の各献血会場で呼びかけを行なう献血応援隊、小・中学生の通学に支障がないように歩道の草払いを行なう県道ボランティアなど活動は多岐にわたります。学校応援団を始めたきっかけは、息子さんが在学中にPTAの施設事業部長となり、学校との関わりが増えたことでした。無造作に伸びた樹木や草が目に入り、自分でできることならと伐採や剪定を買って出たといいます。ボランティアをする上では「自分がケガをしないこと」「施設を壊さないこと、ケガをさせないこと」を心がけていました。

■問合せ 生涯学習課生涯学習係 TEL 76-1286



▲ホームページはこちらから

■「まくらざき学校応援団」ボランティアを募集しています

本市では、幅広い地域住民の参画を得て地域全体で子どもたちの学びや成長を支える、地域学校協働活動に取り組んでいます。今回取り上げた「まくらざき学校応援団」活動のほか、さまざまな活動の様子を「地域学校協働活動だより」として毎月のお知らせ版やホームページで紹介しています。



▲別府中でのミシン操作指導



▲桜山小でのミシン操作指導

元気をもらう子どもたちとの関わり

毎週月曜日、古民家「たけのこ」に縫い物好きの5人の仲間が集まり、楽しくおしゃべりしながら朝市などで販売する作品を作っているグループ「たけのこ」。学校応援団の活動では、家庭科の授業で子どもたちにミシンの使い方を教えたり、郷土料理の作り方を教えたりしています。

代表を務める上金節子さんは「近所の道端で子どもに声をかけようと思っても、不審者と思

われるのが怖くて声をかけられずになりますが、活動の中では子どもたちと関わることができます」と話しました。



ミシンの操作指導
家庭倫理の会



ミシンの操作指導等
たけのこ



仲間と共に楽しむ活動を

読み聞かせボランティアグループ連絡会 会長
久木田 弘子さん

●各グループの活動校

グループ名	活動校
おむすびの会	枕崎小学校 枕崎中学校
Smile Mama Book	桜山小学校 桜山中学校
すずの音	別府小学校
のはら'S	別府中学校
おひさま	立神小学校
たんぽぽのわたげ	立神中学校
ブーたんの会	立神中学校

行政トピックス

市では、地震による人的被害および経済的被害を防止・軽減するため、木造住宅の耐震診断および耐震改修工事に対し、予算の範囲内において補助金を交付します。

木造の専用住宅または併用住宅（住宅の用途に供する部分の床面積が延べ面積の2分の1を超えるもの）であり、現に居住の用に供していること。

自己の所有または居住の用に供していること。借家は所有者が同意していること。

建築されたもの、または着工されたものであること。

耐震改修工事の施工者は、市内に事業所を有する法人または市内に住所を有する個人事業主であること。

市税の滞納がないこと。

木造住宅の耐震診断・改修工事補助金交付制度について

木造住宅耐震診断・改修工事補助金

補助の要件

- 木造の専用住宅または併用住宅（住宅の用途に供する部分の床面積が延べ面積の2分の1を超えるもの）であり、現に居住の用に供していること。
- 自己の所有または居住の用に供していること。借家は所有者が同意していること。
- 建築されたもの、または着工されたものであること。
- 耐震改修工事の施工者は、市内に事業所を有する法人または市内に住所を有する個人事業主であること。
- 市税の滞納がないこと。

受付期間

令和6年2月末までに事業を完了すること。
※令和6年2月末までに事業を終えている場合は対象外です。

令和5年10月31日（火）までで、先着順に受け付けます。

令和5年10月31日（火）までで、先着順に受け付けます。

令和5年10月31日（火）までで、先着順に受け付けます。

令和5年10月31日（火）までで、先着順に受け付けます。

青少年の飲酒・喫煙防止にご協力を

青少年育成センター情報

長期における身体に悪影響を及ぼすだけでなく飲酒や喫煙が常習化すると、法律を破つても問題ないと意識が芽生え、非行や犯罪につながりかねません。

保護者や地域の皆さんへ
20歳未満と知りながら安易な気持ちで喫煙・飲酒をすすめではないません。

声かけ運動や巡回活動など地域で取り組みましょう。

販売業者の皆さんへ
相手が20歳未満と疑われる場合は、身分証明書などの提示を求めるなど年齢確認の徹底をお願いします。

枕崎市青少年育成センターでは、心の悩み110番（電話相談）を開設しています。心の悩み・子どもの教育等ひとりで悩まないで気軽にお電話をください。

ご相談日時 月曜日～金曜日
午前8時30分～午後5時
TEL 0120-055-699（まごころ救急）
※相談日時 月曜日～金曜日
午前8時30分～午後5時
TEL 0120-055-699（まごころ救急）
※「かごしま教育ホットライン24」などの県相談機関の紹介も行っています。

プロバレーボールチーム「フラーゴラッド鹿児島」によるバレーボール教室を開催

子どもたちがスポーツに親しむ機会の創出を目的に、小学生向けのバレーボール教室を開催します。講師は、プロバレーボールチーム「フラーゴラッド鹿児島」の選手です。プロ選手のプレーを間近で見てみませんか？（当日参加や中学生の参加も可能です）

●日時 7月15日（土）午前9時から（受付は午前8時30分から）

●場所 枕崎小学校体育館 ●問合せ スポーツ・文化振興課 TEL76-1347

■問合せ 建設課建築係 TEL 76-1219

■問合せ 青少年育成センター TEL 72-2221



その際、公園等も巡回して

さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつり

8/5・6



5日（土）

- 金管バンド 午後2時～3時40分
- かつおパック等の無料配布 午後5時～
- 合わせ御靈入場 午後6時20分
- 総踊り 午後6時50分～8時

6日（日）

- 大漁みこし 午後1時30分～4時
- 漁師鍋 午後4時～
- かつおのたたき大試食会 午後5時～
- 花火大会 午後8時～9時



枕崎市民の心意気 三尺玉大花火 目標金額 300万円 一口 500円



5月22日、市役所に三尺玉のレプリカが設置されました。三尺玉大花火を市民一丸となり打ち上げよう！

● ● ● 募集コーナー ● ● ●

カッター大会参加チーム

- 日時 8月6日（日）午前8時～正午
- 場所 枕崎港内港
- 対象 中学生、高校生、一般
- 申込み 所定の申込用紙（総合体育馆備付）で7月18日（火）まで
- 問合せ スポーツ・文化振興課 TEL76-1347

浴衣を無料で着付け

- 日時 8月6日（日）午後4時～6時
- 希望者は7月末までにきばらん海まつり事務局にご予約ください。
- 着付け直しは予約なしで利用できます。

ボランティアスタッフ

- 一緒に港まつりを支えてくれる方を募集します。
- 日時 8月5日（土）・6日（日）
- 問合せ・申込み きばらん海まつり事務局 TEL72-1072

ゴミ0（ゼロ）プロジェクト！

今年もさつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつりでは、ゴミ0（ゼロ）を目指します。会場にお越しの際は、ゴミの持ち帰りにご協力ください。

- 問合せ きばらん海まつり事務局 TEL72-1072
(平日 午前9時～午後4時)
- 水産商工課観光交流係 TEL76-1668

プールオープン情報

市営プール

今年度から毎週月曜日を閉設日とします。なお、大会等を実施する場合は月曜日でも開設する場合があります。

- 期間 7月20日（木）～8月31日（木）※月曜日閉設
- 時間 午前10時30分～正午／午後1時15分～3時30分／午後4時～5時45分
- 問合せ 市総合体育馆 TEL72-1116

火之神公園プール

- 期間 7月20日（木）～8月31日（木）
- 時間 午前10時～正午／午後1時～7時
- 問合せ 水産商工課観光交流係 TEL76-1668

台場公園海水プール

- 期間 7月20日（木）～8月31日（木）
- 時間 午前10時～正午／午後1時～6時
- 問合せ 建設課都市計画係 TEL76-1218



市内4中学校で「はなちゃんの
みそ汁」安武信吾さん講演会



5月16日と19日の2日間、「はなちゃんのみそ汁」の著者・安武信吾さんの講演会が市内4中学校で開催されました。「はなちゃんのみそ汁」は、がんを患い余命を覚悟した安武さんの妻・千恵さんが、幼い娘のはなさんにみそ汁の作り方や簡単な家事を教えたエピソードを描いた感動作です。講演では「食べることは生きること」や「家族で食卓を囲むことの大切さ」など、千恵さんが娘に伝えようとしていた思いなどが紹介されました。



市内4小学校で「SDGsって何?」
マリカ先生のトークマジックショー



6月1日と2日の2日間、SDGsや環境問題について教えてくれるパフォーマーのマリカ先生とセージ先生によるトークマジックショーが市内4小学校で開催されました。SDGsや環境問題について、クイズを交えながらの説明の後は、マリカ先生の楽しいマジックショーに、児童たちは目を輝かせしていました。別府小学校6年の板敷未央さんは「紙袋から次々に箱が出てくるマジックがおもしろかったです。SDGsも分かりやすくて勉強になりました」と話しました。

■問合せ 総務課危機管理係 TEL 76-1192



▲防災・一般情報提供メール

詳しい登録方法については、市ホームページ（枕崎市防災・一般情報提供メール）で検索をご覧ください。
受信には、登録が必要です。左の二次元バーコードから空メールを送信すると登録用のURLが送られてきます。



有限会社天平會館が市へ
寄附金を贈呈



5月30日、有限会社天平會館から寄附金の贈呈があり、市役所で贈呈式が行われました。

今回の寄附金は、同会が発行した「かぎんSDGs推進私

募債」の一部で、私募債発行企業が指定する団体などに対して鹿児島銀行を通して寄附を行い、地域企業と鹿児島銀行が一体となって地域の課題解決を図り、地域発展および持続可能な地域の社会づくりに貢献することを目的とするもので、市スポーツ・文化振興課へ寄附されました。

贈呈式で同社の揚野俊清取締役会長は「微力ながら枕崎のスポーツ振興に活用いただければと思い贈呈いたしました。今後ともよろしくお願ひしたい」と話しました。



医療法人厚生会が市へ
寄附金を贈呈



5月30日、医療法人厚生会から寄附金の贈呈があり、市役所で贈呈式が行われました。

今回の寄附金は、同会が発行した「かぎんSDGs推進医

療機関債」の一部で、医療機関債発行企業が指定する団体などに対して鹿児島銀行を通して寄附を行い、地域企業と鹿児島銀行が一体となって地域の課題解決を図り、地域発展および持続可能な地域の社会づくりに貢献することを目的とするもので、市スポーツ・文化振興課へ寄附されました。

贈呈式で同会の小原壮一理事長は「スポーツ・文化のまちとしての認知度が向上し、若者が集まるまちになるよう役立ててほしい」と話しました。



▲回答フォーム

左の二次元バーコードから回答フォームにアクセスし、アンケートにご回答ください。

今後の地震防災対策に皆さんの声を反映させるため、一人でも多くの方のご意見をお聞かせください。アンケートへのご協力をお願ひします。

内閣府では、災害に対する避難意識等に関する調査（アンケート）を実施します。

国による地震防災対策では、減災目標の達成を目指し、日本の各地域の特性に応じて対策が進められています。内閣府では、災害に対する避難意識等に関する調査（アンケート）を実施します。

地
震
防
災
対
策
に
関
す
る
調
査

地
震
防
災
対
策
に
関
す
る
調
査

■問合せ 総務課危機管理係 TEL 76-1086

回答内容は、内閣府により個人が特定できないようとりまとめられた後、今後の防災対策の検討に活用されます。

回答の途中で、回答状況を一時保存することはできません。

回答は1人1回限りです。

回答の途中で、回答状況を一時保存することはできません。

8月31日（木）まで

回答の途中で、回答状況を一時保存することはできません。

回答の途中で、回答状況を一時保存することはできません。

当アンケートには、選択式の設問と記述式の設問があります。

選択式の設問は該当する選択肢にチェックをしてください。

記述式の設問は可能な限り具体的に回答を記述してください。

農業用大型空き缶の処分について

農業用廃棄物による危険防止と環境美化推進のため、農業用大型空き缶の処分は各自で次の場所へ持ち込みをお願いします。

- ・鮫島商店 TEL72-5123（枕崎市枕崎9078）
 - ・大工園商店 TEL73-1599（枕崎市枕崎9495）
- ※持ち込み料金・処理料金は発生しません。



■持ち込むときの注意

- ・農業用の空き缶で金属製のものに限ります。プラスチック製は回収しません。
 - ・残液を完全に洗い流し、フタを取り外し、底に穴を開けてください。
- ※薬剤臭がするものや残液があるものは回収できません。徹底した処理をお願いします。

■問合せ 枕崎市農林技術協会
事務局：農政課農政係 TEL76-1185

火之神地区建物解体工事のお知らせ

7月から来年2月にかけて、火之神町の海岸線沿い養豚場跡地にある建物の解体工事が実施されます。

通行規制等によりご迷惑をお掛けする場合もありますが、ご協力ををお願いします。

■問合せ 財政課財産管理係 TEL76-1192



協力隊が行く!

九州女子硬式野球リーグ開催

今月の担当は
いま
今 隊員 です！

こんにちは。地域おこし協力隊の今です！
いよいよ夏がやってきますね。枕崎での
夏と言えば、きばらん海。楽しみですね！暑
さに負けず、夏らしいことをたくさんして楽
しみましょう！



▲監督兼任選手として出場した今隊員

Q 国体に向けての意気込みを聞かせてください！

黒 競技を知ったときから、かごしま国体への出場を目指して頑張ります！

Q パワーリフティングの魅力は？

黒 競技を始めたきっかけは？

**黒 競技年数: 4年
出身地: 旧笠沙町
職業: 製造業**

Q 競技を始めたきっかけは？

黒 競技を始めた弟からの説明で始めました。

味 競技を始めたきっかけは？

味 先に競技を始めた弟からの説明で始めました。

味 競技を始めたきっかけは？

味 先に競技を始めた弟からの説明で始めました。

Q パワーリフティングの魅力は？

味 競技がベースの競技ですが、体力の使い方や意識を一つ変えただけで記録が伸びることも。

Q 国体に向けての意気込みを聞かせてください！

味 応援してくれるすべての人へ感謝して、トータル600kgの目標を達成し、入賞を目指したいです。



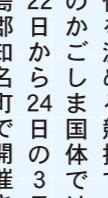
59kg級男子
黒瀬 俊介さん(36)



床に置かれたバーベルを、垂直に引き上げる
デッドリフト



ベンチ台に横になり、胸の上でバーベルを擧げる
ベンチプレス



バーベルを肩に担いで、しゃがんで、立ち上がる
スクワット

枕崎から参加する国体選手を紹介します!!

特別国民体育大会 热い鼓動 風は南から

燃ゆる感動 かごしま国体

パワーリフティングとは

スクワット、ベンチプレス、デッドリフトの3種目

Q 競技を始めたきっかけは？

Q 競技を始めた弟からの説明で始めました。

Q パワーリフティングの魅力は？

味 競技がベースの競技ですが、体力の使い方や意識を一つ変えただけで記録が伸びることも。

Q 国体に向けての意気込みを聞かせてください！

味 応援してくれるすべての人へ感謝して、トータル600kgの目標を達成し、入賞を目指したいです。

2023



■問合せ スポーツ・文化振興課(総合体育館内)
TEL76-6151

「果ての鉄道展」プレ展



スポーツ・文化イベント情報

南溟館
開 9:00 ~ 17:00
※入館は16:30まで
休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問 スポーツ・文化振興課
TEL72-9998

JR指宿枕崎線全線開業60周年、枕崎新駅舎建設10周年を記念して、8月11日から南溟館で開催する特別企画展「果ての鉄道展」。その事前PR展として、プレ展を開催します。

●会期 7月27日(木)まで

※月曜日休館(ただし17日は祝日開館)

●会場 南溟館

●観覧料 一般200円、大学・高校生100円、中学生以下無料

●内容 ①列車や駅舎風景の写真や模型展示
②列車をテーマにした紙芝居やその原画展示
③「花電車」などの映像紹介コーナーほか

キッchenカーも多数出店予定！
プレ展記念イベント
「つなげ!ミライの枕崎のりものフェスタ」

●「紙芝居読み聞かせ会」(各回15分)
日程 15日(土)午後2時~、16日(日)
および17日(月・祝)午前10時~

●「ミライの私たちへ描こう!枕崎のミライのりもの」

日程 15日(土)午後2時45分~5時、
16日(日)および17日(月・祝)
午後1時30分~4時30分

講師 富吉郷太氏、橋村美穂氏
(HONOSATO LOCOMOCORO)

※色鉛筆、クレヨンなどご準備ください。

※参加をご希望の方は、南溟館までお問い合わせください。

南溟館の臨時休館について

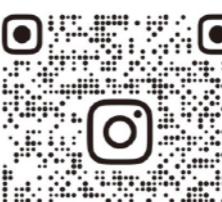
果ての鉄道展開催準備のため、下記の期間は南溟館が臨時休館となります。

●期間 7月28日(金)~8月10日(木)

WBC(ワールドベースボールクラシック)での侍ジャパンの優勝に始まつた今年の野球シーズン。日本のプロ野球も観客の入場制限がなくなり、全国各地の球場では多くの観客を集めています。投手での活躍に加えて、今年はホームランを量産してペナントレースが盛り上がりをしています。声出し応援も再開され、球場の雰囲気もコロナ以前に戻っているのが、テレビを通じて伝わってきます。

アメリカ・メジャーリーグでは、WBCの優勝に貢献した大谷選手が今年も二刀流で、さらにレベルアップした活躍を見せています。投手での活躍に加えて、今年はホームランを量産してホームラン王争いでモリーライアードのトップを走っています。これからどんな活躍を見せてくれるのか、楽しみしかありません。ダルビッシュ投手や菊池投手などに加えて、今年海を渡った吉田選手、千賀投手などの活躍も本場アメリカのファンを驚かせています。

鹿児島県関係では、全国大学野球選手権に初出場した鹿屋体育大学が全国ベスト8に進出する大活躍を見せてくれました。そして、この季節の野球といえば、高校野球。夏の甲子園大会を目指した地方大会が全国各地で始まっています。今年の甲子園はおそらくプロ野球同様、観客の入場制限もなく、あの熱い夏が戻ってきます。そして我らが地元の枕崎高校と鹿児島県立高校の鹿児島県の頂点甲子園を目指した戦いが、大いに期待されます。皆さんで両校を力強く応援していきましょう。そしてもうひとつ、枕崎に地域野球、少年野球大会が戻ってきます。枕崎伝統の大会が4年ぶりに開催されます。野球の夏、本当に楽しみな夏です。



⑥AIAISA_4

▲インスタグラム



▲初めての試合に臨む枕崎チーム

野球の季節

コラム

vol. 51



**ウミガメ上陸に備え
海岸を清掃**

■5月20日、白沢地区の海岸清掃作業が行われ、地元住民やボランティア約60名がウミガメが上陸する際に障害となるゴミなどを取り除きました。昨年は28頭が上陸し、2頭の産卵が確認されています。

**まくらざき探検隊企画
「青葉がある木浦散歩」**

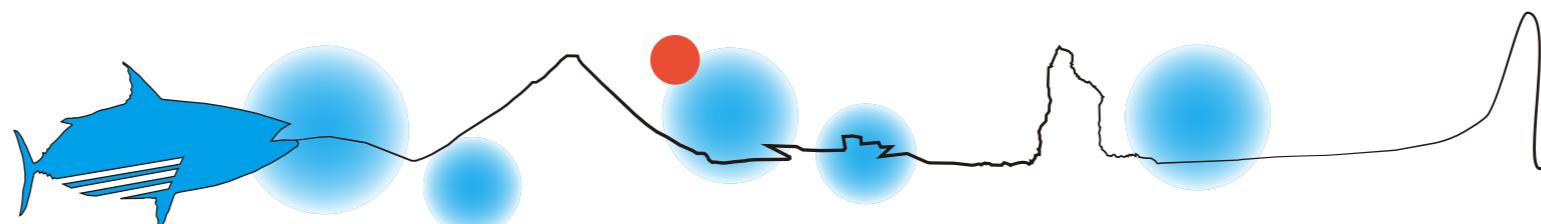
■5月21日、木浦地区でまくらざき探検隊企画「青葉がある木浦散歩」が開催されました。爽やかな木漏れ日のもと、本市指定史跡の樟脳工場跡や、新生橋、木浦橋などを散策しました。

水源地等の清掃作業を実施

■6月1日から7日は水道週間でした。1日には水の大切さを再確認し、河川や森の環境を守る取り組みとして、水道事業協会と水道課が深浦水源地の清掃作業を行いました。

**第16回枕崎ぶえん鯉
スタンプラリー抽選会**

■6月15日、水産センターで行われました。今年は全国から1,195通の応募があり、当選者には枕崎産豚肉や枕崎ぶえん鯉詰め合わせセットなどの豪華賞品が贈られました。



糸州会の小学生3名が九州・全国の舞台へ ～県大会の結果報告と意気込みを胸に市長に表敬訪問

5月31日、糸州会枕崎空手道スポーツ少年団の選手および指導者が市長を訪問し、4月23日に開催された第57回鹿児島県空手道選手権大会(形個人戦)での入賞報告と、全国大会および九州大会へ向けての意気込みを語り、気迫溢れる形を披露してくれました。

小学2年男子で準優勝した松田鳳未さん(写真中央)は全国大会および九州大会に、小学3年男子で4位となつた松野下湧さん(写真右)、小学5年男子で4位となつた松田簾生さん(写真左)は九州大会への出場が決定しています。3人は「全国、九州大会での優勝を目指し、練習を頑張りたいです」と話しました。



災害に備え市社協とJCが強力タッグ ～災害時相互協力協定を締結

5月24日、福祉会館において、枕崎市社会福祉協議会と枕崎青年会議所(JC)との「災害時相互協力協定書」調印式が行われました。

この協定は、災害発生時にボランティアセンターの開設を担う社会福祉協議会に対して、さまざまなボランティア活動を行ってきた青年会議所のネットワークやノウハウを活かし、その活動を効果的に進めていくための相互協力協定となります。枕崎青年会議所理事長の谷上宗士郎さんは「これまでの災害ボランティア活動の際、枕崎が被災した時にどんなことができるか考えてきましたが、今回の協定でお手伝いできることをうれしく思います」と話しました。



花の育成を通じて「人権の花」を咲かせよう ～立神小学校と別府小学校に人権の花を贈呈

5月29日に立神小学校、6月2日に別府小学校で「人権の花」贈呈式が行われ、地元人権擁護委員からヒマワリの種子や、人権イメージキャラクターの人KENまもる君・人KENあゆみちゃん人形などが贈られました。

この運動は、配布された花の種子や苗を、児童が協力しながら育成することを通して、協力、感謝することの大切さを学ぶとともに、豊かな情操とやさしい思いやりの心を育て、人権尊重の思想をはぐくむことを目的としています。



4年ぶりのおはらで大いに盛り上がり ～投稿者：関東枕崎会 小島芳郎さん

「第26回渋谷・鹿児島あはら祭」が5月28日、東京・渋谷で開催され、渋谷のメインストリートを54団体2,000余名の鹿児島県人が埋め尽くしました。

新型コロナウイルスの影響で、4年ぶりの参加となった関東枕崎会踊り連には、枕崎から上京した9名を含めた33名が参加しました。新緑の萌える道玄坂を元気よくパレードし、沿道から多くの枕崎出身の友人達から声援をいただきました。踊りの掛け声も「渋谷あはら」からいつの間にか「まくらざき カつあ節」に代わって大いに枕崎をアピールし、全員が最後まで楽しく踊りました。そして打ち上げでは枕崎の人と語り合い枕崎と関東の距離をグッと縮め大盛り上がりました。

来年も、さらに多くの方と楽しく踊れることを待ちにしています。



とったどー！ご当地カルタに児童熱中 ～「金山いろはカルタ」で学ぶ金山地区的歴史や情景

5月19日、桜山小学校春の1日遠足で同校の4年生24名が金山センターを訪れ、金山地区の高齢者と「金山いろはカルタ」でふれあい交流を行いました。

金山いろはカルタは、金山地区の歴史や情景を48枚の「いろは歌」にして後世に継承しようと製作されたものです。読み札が読まれると、我先にと取り合った児童たちは、帰るころには下の句を暗記してしまうほど熱中して楽しんでいました。



国体開催に向けダンスで交流 ～マスゲーム講習会で「ゆめ～KIBAIYANSE～ダンス」

6月20日、総合体育館においてマスゲーム講習会が開催され、スポーツ推進委員やPTAの関係者38名がダンスで汗を流しました。

マスゲーム講習会は、お互いのコミュニケーションを図りながら地域のスポーツ・レクリエーション活動を推進することを目的としており、今回は、今年10月に迫った燃ゆる感動かごしま国体のイメージソング「ゆめ～KIBAIYANSE～」に合わせたダンスで大会開催の気運醸成を図りました。

